



# 第18回 山口大学おもしろプロジェクト 4月



## Code Orange

2月2日の宇部駅伝に向けて、練習会を実施した。昨年度の宇部駅伝では、けが人やランナーの体調不良などの案件が多く、本年度は実際の現場を想定した練習を多く実施し、また擦り傷、捻挫などにも対応できるよう、入念に準備を実施しました。幸い、大きなトラブルもなく、無事に終える事ができました。また、当日はBLS講習会も実施し、普及活動を引き続き行いました。2月末には、先月に引き続き病院職員を対象としたBLS講習の補助を実施します。年度末も近づき、新年度の勧誘の計画も練り始めている所であり、より普及活動を活発にできるよう、策を練っているさなかです。



宇部駅伝  
集合写真

## 震災から何を想うか

2月22日(土)に山口南ロータリークラブさんが開催するインターシティミーティングのパネルディスカッションのパネラーとして出させていただくことが決定しました。今回のインターシティミーティングは、福島県の相馬高校が作成した「今、伝えたいこと(仮)」のDVD鑑賞と「地域から広げよう奉仕の輪」をテーマとしたパネルディスカッションの2つがスケジュールに組まれています。そのインターシティミーティングの事前打ち合わせが1月20日に行われ、私たち以外のパネラーの方々4名とお会いしました。話し合うなかで感じたのは、自分たちも含めパネラーの方々が所属している団体やグループの方向性はみな同じようなところに向かっているのですが、立場や視点はさまざまなのでアプローチの仕方が異なります。私はそこに今回のパネルディスカッションのおもしろさがあるのではないかと考えています。そこで自分たちは学生という立場、視点でのアプローチを主張していくことと東北での活動報告を含めた学生としての東北での経験を話したいと思っています。

## 第18回 おもしろプロジェクト報告会 開催します

「おもしろプロジェクト」とは1996年、当時の広中平祐学長の発案で、ユニークな計画をした学生に大学が資金援助をして遂行させるというものです。2013年度に採択された9プロジェクトが1年間の活動を写真や作成した実物を展示して報告します。



入場は自由です  
時間がある人は  
ぜひ来てね！

【日 時】

4月5日(土)13:00~16:00

【場 所】

総合図書館1階アカデミックフォレスト

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています



# 山口大学おもしろプロジェクト



## 第18回 おもしろプロジェクト'13報告会が開催されました

4月5日(土)総合図書館「アカデミックフォレスト」で第18回おもしろプロジェクトの報告会が開催されました。採択された9団体が、1年間の活動をポスターやプレゼンテーションで報告しました。

### 【採択団体】

Code Orange / ほーたるこいっ! / ソーラーカープロジェクト2013  
 月1!!Global☆ / ペットボトルロケットの限界、そしてその先へ! / 図書館Café  
 震災から何を思うか / 地域に物知り博士を増やそう!  
 カンホシアの子どもたちに 学校体育の素晴らしさを届けるプロジェクト



岡学長の挨拶  
報告会スタートです



写真や図、動画を使って  
活動を発表しました



ヤマミも  
聞いています



熱心に読む  
来場者が多かった  
ポスター展示ブース



実際に使われた  
器具も展示していました。



最後は縦縞機構長より  
閉会の挨拶がありました

## 第19回おもしろプロジェクト プロジェクト募集中

**締切りは 5月9日(金)17:00必着 です!**

「申請用紙の書き方がわからない」「どんなものを購入できるのか?」など、  
おもしろプロジェクトの応募について、  
不明な点などあれば学生自主活動ルームにお問い合わせください!

**これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています**





# 第19回 山口大学おもしろプロジェクト



## 第18回おもしろプロジェクト'13学長賞

おもしろプロジェクト'13採択団体の活動を紹介したポスターを、学生自主活動ルーム前(3/31~4/11)と、報告会当日(4/5)に展示し「おもしろプロジェクト学長賞」の投票を行いました。

### 1位 カンボジアの子どもたちに学校体育の素晴らしさを届けるプロジェクト

#### 【プロジェクト概要】

計画内容:本プロジェクトは、カンボジアにおいて、学校体育の普及・振興を図るべく教育支援ボランティア活動を展開することを目指す学生ボランティア組織である。カンボジアでは、体育授業は必修化されているが、施設・用具の不足や教師の体育に関する専門性の不足ほかの理由から、現在に至るも教科体育が実施されるまでには至っていない。そこで私たちは、運動会に着目し、カンボジアの初等学校において現地の実情に合った形の運動会を開催し、普及・振興を図りたい。取り組み内容は以下の3つである。

①カンボジアの人々に運動会の良さ・面白さを伝える、②我々自身が国際教育協力という活動そのものを体験的に学ぶ、③広範な市民・企業・団体にカンボジアの子どもたちへの文房具の寄付を募る。予想される効果:第1は、カンボジアの子どもたちに学校体育の素晴らしさを感得してもらい、先生方に運動会の企画・運営のノウハウを体験してもらうこと。第2は、本プロジェクトに結集した私たち学生スタッフ一人ひとりが成長すること。第3は、山口大学への貢献である。

### 2位 Code Orange

#### 【プロジェクト概要】

私達Code Orangeは、心肺蘇生法の普及をサークルで、一般市民の方たちに心肺蘇生法講習会を開いている。今期のテーマに「Progress」を掲げ、昨年までの行事に加え、山口大学吉田キャンパス・常盤キャンパスや、地域の小中高校などに、心肺蘇生法講習会を開く予定としている。また、地域に新聞やポスターを配布・掲示し、心肺蘇生法の大切さを県内に広げ、救命率の上昇に貢献することを考えている。

### 3位 図書館Cafe

#### 【プロジェクト概要】

新しく開かれる図書館内で学生が主体となって運営するカフェを計画している。その準備段階としておもしろプロジェクトを利用したいと考える。目的は、学生や職員はもちろんのこと地域の方々も気軽に立ち寄り、交流できる空間を提供することで、図書館が身近な存在となることで利用者の増加も予想できる。内部に本についてのコーナーを設置するなど図書館との連携も行う。また、このプロジェクトで経営を実際に体験することを通して、学生の意識を高め、成長を期待できる。



これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています



# 第19回 山口大学おもしろプロジェクト



| Code Orange                                                                                                                                                                                                                                                                                     | MOTTAINAI☆PROJECT                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 私達Code Orangeは、心臓蘇生法の普及を目的とするサークルで、一般市民の方たちに心臓蘇生法講習会を開いている。今期のテーマに「実践」を掲げ、昨年度までの行事に加え、山口大学吉田キャンパス・常盤キャンパスや、地域の小中学校などに、心臓蘇生法講習会を開く予定としている。また、地域に新聞やポスターを配布・掲示し、心臓蘇生法の大切さを県内に広げ、救急率の上昇に貢献することを考えている。さらに実績も認められ山口大学附属病院においてコメディカルを対象としたBLS講習会の講師にも任命され実践の場が増えているので、これらからも関連病院に出向いて実践の場を増やそうと考えている。 | 本プロジェクトの活動内容は、まだ使える生活用品を帰国する留学生から回収し、次の留学生にそれらを渡し、再使用してもらうことである。この活動を通することで、留学生が学業に専念できる、会館でのゴミが減り環境に優しい大学となる、又学生がプロジェクトを実践することで、国境を超えた学生同士の交流を深めることが期待できる                                                                                                                                               |
| 科学の楽しみを運ぶ～学生隊～                                                                                                                                                                                                                                                                                  | プロジェクトY                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 「科学の楽しみを運ぶ～学生隊～」とは、子どもたちに科学の楽しさを知ってもらうことを目的としたプロジェクトである。子どもたちが科学に興味をもち、科学に対して「面白い」と思ってもらえるように、小中学校やイベント会場で科学実験を披露したり、工作教室を開いて子どもたちと一緒に工作をする等の活動を行う。                                                                                                                                             | 過去にも我々はおもプロに参加し、地域と連携をとり、周辺の生物調査をしてきました。その中で、過去のプロジェクトの反省点として、プロジェクトが終了すると同時に、サークルの活動が停滞ぎみになることが挙げられました。そこで、今までの活動で得た地域との繋がりを生かし、かつ、プロジェクトが終了後にサークル活動がより充実するようなプロジェクトを実行したいと思ったのが今回の背景です。                                                                                                                |
| ソーラーカープロジェクト2014                                                                                                                                                                                                                                                                                | アジアカレッジ                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| ソーラーカーの製作を通じて工学的分野の知識、技術、課題への克服能力、協調性など座学では学べない能力を育む。競技会へ参加することでモチベーションを高く保ち、より良い成績を取ることを目的としており、競技会を通して自分たちの能力の成長を確認するとともに、ライバルチームとの交流を通じてさらなるレベルアップを目指している。また、地域行事に積極的に参加することで地元の方に環境問題について考えてもらい、工学や科学の魅力を発信していく。                                                                            | アジアカレッジとは山口大学生、山口県立大学生が運営している日韓交流プログラムである。「環境と平和」をテーマに様々な場所を訪れ日韓の学生で共に学習する。このプログラムを通じて将来を担う日韓の青年の育成を図り、日韓のこれからの在り方の相互理解を目的としている。日韓の大学生たちが環境や平和に関するディスカッションを重ねてお互いの過去、傷を相互の視点から理解しこれからの友好的な日韓の在り方を考えるきっかけとなればと考えている。                                                                                      |
| 電脳飛行                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 缶サット計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| コンテストに出場するための小型無人飛行機の設計・製作および飛行練習を通して、機械工学(特に航空工学およびメカトロニクス工学)への理解を深めるとともに、普段の授業等では体験できないものづくりの難しさや楽しさを学び発信していく。コンテストは、インターネット中継がされるなど全国に情報発信されるため、山口大学の知名度向上やアピールにつながるかと期待できる。                                                                                                                 | この企画は小型ロケットを製作し、缶サイズの衛星を打ち上げ、性能・アイデア・目的地への到達距離を競う缶サットという競技に出場し好成績を目指すことである。この企画をとらして、宇宙開発の模擬体験をすることにより将来の技術者としての必要な基礎を習得する。                                                                                                                                                                              |
| 山口大学フォーミュラレーシングチーム                                                                                                                                                                                                                                                                              | 山大グリーン・ツーリズム                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 本プロジェクトは、2015年に開催される第13回全日本学生フォーミュラ大会への参戦を目的とし、参戦車両の設計・製作及び疑似マーケティングを行う。文理を問わず参加学生は、大会参戦準備作業を通してチームワークの醸成、課題発見能力・問題解決能力の向上が期待できる。また、ものづくりの面においても自動車開発は幅広い分野の知の結晶であるので、学生は自らの専攻に限らず他の専攻の実践的な知識を得ることができるプロジェクトである。                                                                                | 本プロジェクトは、大学生や留学生に「畑」というもう一つの居場所を提供し、大学生活をより充実したものにするというプロジェクトである。私は昨年の6月から、農学部の先生から畑の一角をお借りし、野菜を栽培させて頂いた。4月に入学し、初めての一人暮らしで不安な日々を送っていたが、放課後畑に行き、野菜や土に触れ、人と話をすることで、とても心が癒され、畑が私のもう一つの居場所となっていた。また、農作業をしていると、ウォーキングをされておられる地域の方々を掛けて下さり、地域の方と交流することもできた。このように、畑づくりにたくさんの方々の資源があることを実感し、この資源を有効活用したいと思い申請した。 |
| 地域に物知り博士を増やそう！in山口                                                                                                                                                                                                                                                                              | 月1!Global☆                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| めだかの学校は、地域、特に山口大学のある平川地域を中心に、幅広い年齢層を対象に活動し、地域に貢献しています。今回は、前回の博物館イベントのように、山口市の街景(瑞雲光寺五重塔や山口ふるさと伝承総合センターなど)にも協力していただき、子どもたちの体験を増やす活動を取り入れていきたいと考えています。また、平川地域の方に協力していただき、郷土料理作りや伝統菓子作りなど、山口市の歴史や文化を子どもたちに伝えたいと思います。めだかの学校が、大学と地域の架け橋となり、大学生だけでなくお互いが学び合える交流活動を行いたいと思います。                          | 当プロジェクトは国際交流サークルYJK(Y:山口でJ:自由なK:国際交流)の参加者、交流活動に興味のある人たちが運営される。プロジェクト参加者で1ヶ月ごとにテーマを決め、そのテーマに沿った交流イベントを企画する。当プロジェクトの特徴はイベントごとに企画者・参加者両方が流動的に変わるスタイルを基本とし、テーマもイベントもメンバーで自由に自発的に自然発生的に決めていくことにある。当プロジェクトのルールに従いテーマに沿った専門家を招く講演会をしたり、地方の方と一緒に交流するイベントを行ったりするなど自由に決めていく。昨年度の活動により集まったメンバーで、年間を通して一つの作品を作り上げる。  |
| カンボジアの子ども達に学校体育の素晴らしさを届けるプロジェクト                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 本プロジェクトは、カンボジアにおいて、学校体育の普及・振興を図るべく教育支援ボランティア活動を展開することを目的とする学生ボランティア組織である。カンボジアでは、体育授業は必修化されているが、施設・用具の不足や教師の体育に関する専門性の不足ほかの理由から、現在に至るも教科体育が実施されるまでには至っていない。そこで私たちは、運動会に着目し、カンボジアの初等学校において現地の実情に合った形の運動会を開催し、普及・振興を図りたい。                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています



## 第19回 山口大学おもしろプロジェクト 6月



## Code Orange

今月のニュースは、6月24日に行われました医学部部活動生対象の成人BLSと熱中症の講習会です。このイベントは毎年医学部で行われています。今回は、新2年生が1年生の時に成人BLS講習会が行われていないので、今回は80人もの多くの受講者を集めて行いました。受講者の皆さんは、医学生ということもありモチベーションが高く大変有意義なイベントでした。7月12日には、本学の七夕祭に出向き七夕祭に訪れた山大学生を含む一般の方々約60人に講習会を介して成人BLSの重要性を知ってもらいました。来月からは、医学部小串キャンパスや工学部常盤キャンパスで行われるオープンキャンパスでBLS講習会を行う予定です。またCode Orangeのメンバーの中には、夏休みを利用して他大学の勉強会に行く人もいます。そこで得た知識を全員で共有する予定です。これから多くの人たちに成人BLSの重要性を知ってもらえるように頑張っていきたいと思います。



医学部部活動生  
対象の部活動講  
習会

## 電脳飛行



強度不足のため  
飛行試験中に破  
損した主翼

今月期から機体製作が開始しました。定例ミーティングでは、大会参加メンバーや機体名を正式に決めました。6月30日から7月13日にかけて機体の製作を行いました。全幅150mmの機体は今までに制作した経験がなく、理論計算と作業を繰り返して調整しました。翼が大きいため設計では考慮していなかった多くの問題点が浮上しました。例えば、翼のリブが少なかったことが原因で翼表面に用いたデブロンに歪みが生じエルロンを滑らかに動かすことができませんでした。そこで、バルサの角材を接着し補強を行いました。同様に水平尾翼も強度が足りず、カーボンフィルムで補強を行いました。投下機構は3回の試作を経て軽量化と確実性を優先した機構に仕上げました。7月14日に機体第一号「しらさぎちゃん」が完成し、テスト飛行を行いました。感想としては、重心が後ろにあり安定して飛行していませんでした。次回機の製作では「強度」「軽量化」「安定性」、また「投下機構」についても見直し、より良い機体にしたいです。

## アジアカレッジ

今月は8月の夏アジ本番を想定し、具体的なタイムスケジュールや活動内容を決定することを中心に活動しました。門司港や広島、岩国を訪れて、実際に滞在する宿や施設の見学を行い、予約をしました。7月12日には山口大学の七夕祭に出店して、最後の参加者募集アピールを行いました。多くの人々が集まる七夕祭という場所で、アジアカレッジの活動を知ってもらえてよかったです。また7月20日には韓国側のリーダーを迎えて細かい所まで打ち合わせをしました。山口県の長門市と韓国の蔚山市はともに捕鯨文化の継承に力を入れているということで、一緒に長門市のくじら祭りに参加しました。そこで、海岸清掃活動や祭りの参加者や地域住民の方々を対象とした環境意識調査のアンケートを行うことで日韓の両方が環境に対する知識を深め、意識を高めることに成功しました。来月は、萩市・美祿市の下見や参加者の顔合わせなど、夏アジ本番まで最終的な調整をしていこうと思います。



くじら祭り

## ソーラーカープロジェクト2014



試走時の写真

今月は先月に引き続きボディーの製作を行いました。前年度からいたメンバーが全員研究室に配属され共同での作業時間が取れない中、それぞれの空き時間をうまく利用して活動して行きました。主な活動内容としてはボディーの制作、車体の整備、大会のエントリー、電気配線の接続などを行いました。メンバーの技術も熟練して来て作業が効率的に進み、私が活動してきた中でも重量は5kgほど増しましたが剛性を高めることができ、空気抵抗に関係する数値の前方投影面積を10%程度削減でき良いものができたと思います。車体はほとんど完成しており、これから大会までは、あとは隙間を埋めたり細かい部分などの微調整や試走を行い、最後の改善・改良を行って行きます。新メンバーも活動に慣れて来た頃ですが、土日の活動でみんな疲れがたまってきたみたいです。大会まで時間も短くなったため、これからさらにメンバーで協力し、大会で良い結果が残せるように努力していきます。

これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています

7  
お  
も  
ろ

# 第19回 山口大学おもしろプロジェクト 7月

7  
お  
も  
ろ

## 山大グリーン・ツーリズム

7月下旬から8月にかけて野菜がグングン成長し、三回にわたり収穫祭を行いました。13人で活動し、留学生の方々や新たなメンバーも参加してくださり、楽しく収穫することができました。留学生との会話の中で、この野菜は母国にはあるかといった話や、どのように料理するのという話で盛り上がりしました。今回は、収穫した野菜で母国の料理を作るという活動はできなかったのですが、秋野菜の収穫祭では実施したいと思っています。また、ずっと一緒に活動していた二人の留学生の方が8月の下旬に帰国されるということを知り、メンバーで留学生の方々との思い出をアルバムにしてプレゼントしました。アルバムを制作する中で、野菜の成長と共に、留学生の方々との交流も深まっていたことを実感しました。この体験から、畑での様々な人との交流を大切にしていきたいと思いました。これから秋になり、秋野菜の種まきの計画を立てています。今回の夏野菜での学びを生かして、さらに美味しい野菜、居心地のいい畑を作りたいです。



こんなにたくさん  
収穫できました

## 月1!!Global☆



8月イベント風景

8月7日に8月のイベントを行いました。今回のイベントは、ミッションをこなしながら山口市内を車で散策しました。4、5人(内留学生1、2人)で1台の車に乗り、移動しました。イベントで車を使用したことにより、普段訪れることのないほどの距離まで探索することができました。また、夜には、夏休み中に帰国してしまう留学生たちの送別会を行いました。9月からは再び新しい留学生が日本に来るので、新しい留学生の勧誘をしていこうと考えています。また、その勧誘方法についても、これまで以上に効率の良い方法を提案していこう、と考えています。

イベントの日以外にも、来月に行われるサバイバルキャンプの打ち合わせを行いました。企画スタッフは10人以上集まりました。15日には実際に徳地青少年自然の家に行き、下見を行いました。当日に必要なものをまとめ、大学に申請する書類などをまとめました。今後は当日のミッションを確定したり、参加者の募集に力を入れていきたいと思っています。

## 山口大学フォーミュラレーシングチーム

今月の活動は、いよいよ車両の設計に入りました。私たちが来年の参戦を目指している全日本学生フォーミュラ大会は車両の運動特性を測る動的審査のみならず、車両の製作コストやマーケティングを競う静的審査があります。行き当たりばったりの車両設計では本大会に出場できない可能性もあります。よって今月のミーティングでは私たちが製作する車両のコンセプトを決定しました。私たちの車両のコンセプトは初めてモータースポーツに挑戦する人でも扱いやすい車両を目指す「ドライバビリティの追求」とし、そのコンセプトに従った車両諸元を構成員で議論しました。その後、私たちが設計・内製できる部品、学生では製作することが不可能な部品を洗い出しました。内製できる部品の中で、最も製作に時間が必要な車体フレームを3DCADソフトによって初期設計を開始しています。また、サスペンション等は設計時に特別の知識が必要な部品ですので、専門の構成員を割り当てて機構を学習しています。



全体ミーティング  
での議論の様子

## 電脳飛行



飛行試験中の  
「しらさぎ2」

今月は主に、試作機「しらさぎちゃん」の問題点の洗い出しと新造機「しらさぎ2」の設計・製作を行いました。「しらさぎちゃん」には、主翼の強度不足により高速飛行が出来ないという大きな欠点があったため、主翼構造の設計変更を行いました。また、ものづくり創成センターにご協力いただき、従来では手作業で切り出していた木材をレーザー加工機で切り出す方法を取り入れました。これにより手作業では困難だった細かな加工が出来るようになり、翼型の精度向上やトラス構造による軽量化が出来ました。その他に、胴体部分の設計変更や尾翼の設計を最適化したことにより、「しらさぎ2」は200グラムを切る驚異的な軽さで完成しました。(しらさぎちゃんは250グラム) また、8月8日に飛行試験を実施したところ、主翼の強度不足は解消され、ハードな操縦にも耐える事を確認しました。これからお手玉の投下機構や自動制御装置の試験を実施して、大会の「ミッション」を確実にこなすことができる機体を仕上げていきたいと思っています。



**これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています**





# 第19回 山口大学おもしろプロジェクト 8月



## ソーラーカープロジェクト2014

大会が終わり、繰り返しミーティングを行うことで活動や大会の反省から来年への活動方針などを決めました。ミーティングの結果、ボディは今年度のものを改良し、モーターの仕様変更とオーバーホールとバッテリーの購入することを決めました。そして、来年の大会では周回数35周以上と上位入賞を目指します。モーターの仕様変更やバッテリーの購入するにあたって約30万円程の資金が追加が必要となったため、常盤工業会から資金援助を募りました。今年度作成したソーラーカーは昨年のもより大きく設計したため、ガレージへの収納が難しくなりました。そこで、ボディの保管と部員の募集も兼ねて工学部の講義棟内に展示することになりました。今後の活動としては、効率よく夜間や雨天時も活動するために、1番の課題である、活動場所を探すことに専念していきます。また、新しいホイールをつけれるようにタイヤのハブの設計を行います。今回の大会での反省や考察を元に試走を繰り返し、改良改善を行いつつ来年度に良い結果が残せるようにこれから努力します。



展示写真

## 缶サット計画

今月の活動のメインは、ロケットの基礎講習と4級資格の取得を行いました。この講習ではロケット設計の基礎、歴史、ロケットの取り扱いについて、ロケットの打ち上げなどを学習しました。具体的には200m以上の打ち上げには、申請が必要であるなど法律についてもまなびました。やはり危険物を取り扱うのでしっかりと法律やルールを守って学校や地域に迷惑をかけないように計画を進めることが大切だと思いました。この資格によりABC型のエンジンの使用ができるようになりました。しかし缶サットに用いるエンジンのタイプはF型以上のものでさらに3級の取得が必要です。また3級の資格を取ると指導講師資格が取れるようになり、ロケットの打ち上げ教室なども開催できるようになります。今後の活動の幅を広げるためにも3級の資格が必要です。現在はチームの数人は3級の取得に向けて準備をしています。9月はメンバーの都合が悪く集まれる機会があまりありませんでしたので個人での活動が中心となっています。しかし資格の取得によってエンジンも取り扱えるようになり、計画としては前進していくと思います。今月学んだ知識を計画に還元して行きます。

## Code Orange

今月は、6月にFirst aidの勉強会と資格を取りに広島まで行った時の知識をオレンジメンバーの知識向上と勉強の意識改革を含めて先輩方や同期、後輩と共に勉強会を開いています。今月は、痙攣、低体温症・凍傷と胸腹部外傷というよく耳にするものに対する対応方法を勉強しました。勉強会の中身も大変わかりやすくすぐにでも取り組めるようにどうしたらいいのかが事細かに書かれており大変良い出来のものであった。また勉強会当日には、新メンバーを含めて20名が参加して教室に立ち見が出るほどたくさんの方が集まってくれました。来月もこの勉強会が続きますので楽しみです。さらに11月の医学祭に向けて今年は4つの救命の連鎖をテーマにした新しい取り組みを考えており練習会や勉強会が増えますが頑張っていこうと思います。さらに今回の医学祭のこの取り組みにより多くの宇部市民や山口県内の人たちに心肺蘇生の大切さが伝わればよいと考えています。



定例会  
【First aid】

## アジアカレッジ



細川さんの公演  
を聴いている様子

日本と韓国の参加者が交流するアジアカレッジのメインイベントが8月20日～8月29日まで開催されました。8月21日に環境学習の一環として長門市の海岸でゴミ清掃とゴミ調査を兼ねた地引網漁を行いました。アジアカレッジのスタッフと参加者約40名が二手に分かれて地引網を引きました。これだけの人数で引いてもとても重かったので、沖から岸まで網を引き揚げるのにはとても苦労しました。網には様々な魚もかかっていましたが、ゴミもたくさんありました。日本のゴミもたくさんありましたが、韓国や中国からのものもいくらかありました。普段は環境問題は机上のものであるが、実際に体験することで環境問題を実感することができました。

8月25日に平和学習の一環として被爆体験をされて細川さんの公演を聴きました。中学生や高校生の頃に歴史の授業で学んだことよりも遥かにリアルに被爆のことを聴くことができました。僕たちはこの広島で起こった被爆のことを後世に伝えていかなければならないと思いました。

★ ★
これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています
★ ★ ★



# 第19回 山口大学おもしろプロジェクト 9月



## 電腦飛行

9月27・28日に、本プロジェクトの目標である全日本学生室内飛行ロボットコンテストに出場しました。大会1日目は機体審査と手動制御部門の予選があり、機体審査は無事通過することが出来ました。2日目は練習飛行と自動制御部門の競技があり、練習飛行では工学部の体育館では出来なかったミッションの確認をしました。予選では自動制御の水平旋回が上手くいかず点数が伸びなかったため本戦出場が危ぶまれましたが、審査員推薦により本戦に出場することができました。本戦では、救援物資投下・ゲート通過・手放し飛行・無動力滑空は上手くでき、上位チームと引けを取らない得点でしたが自動制御が上手くいきませんでした。結果は7位となり、飛行競技での入賞は出来ませんでしたが、審査により「ベストクラフト賞(三菱重工賞)」という特別賞を頂きました。機体の製作にレーザー加工を用いたことやLEDを用いて機体の状態を確認できるようにした事が評価されました。結果は満足のいくものではありませんでしたが、非常に良い経験が出来ました。これからは、大会の経験を活かして機体の改良をしていこうと考えています。



大会後のしらせ  
ぎとチームメン  
バー

## 地域に物知り博士を増やそう！



小石に  
お絵かき作品

今月はめだかの学校の一大イベントであるアートふる山口がありました。毎年10月上旬に一の坂川沿いや堅小路周辺を中心に開催される「芸術」をテーマにしたイベントです。着物の着付け体験や作品展示、ステージイベントなどイベントが盛りだくさんです。毎年参加させていただいており、めだかの学校としては、木の実で工作、小石にお絵かき、地面に落書きをしました。木の実で工作では、どんぐりでストラップを作ったり、枝やまつぼっくりを使って自由に作品を作ってもらいました。小石にお絵かきでは絵具で石に絵を描いてもらい、個性あふれる作品が出来上がりました。地面に落書きでは、めだか手作りのチョークを使って好きなように絵を描いてもらいました。子供から大人の方まで幅広く楽しんでもらえました。2日目は台風による天気への心配もありましたが無事に終わることができました。また、赤レンガのステージイベントの司会をさせていただき、とても貴重な経験になりました。

## 山大グリーン・ツーリズム

放課後、畑に行くにあたりがあつという間に暗くなり、秋を感じる今日この頃です。そのような秋まただ中に、秋野菜の種をまきました。7人で活動し、まず初めに夏野菜の最後の収穫を行いました。ピーマンが50個以上収穫でき、みんなで分けました。自主活動ルームに持っていくと、学生がおられて、参加者以外の学生に野菜のおすそ分けができ、とてもうれしかったです。夏野菜を収穫した後は、秋野菜の種まきのために畝を作りました。誰の畝が一番きれいにできるかと、最後には競争になっていました。山大産野菜で鍋をすることを思い描きながら、玉ねぎと大根、白菜の種をまきました。最後に水やりをしていると、留学生の方が駆けつけて下さり、カラカラに干からびたオクラを見て、来年のために種を取っておこうと提案してくださいました。このオクラの種のように、この畑での人と人とのつながりも来年へとつなげていきたいなと思いました。今日まいた野菜の種の芽が出るのがとても楽しみです。



種まきの様子で  
す。早く鍋が食  
べたいなあ

## 缶サット計画

今月は、種子島ロケットコンテストの出場に向けてロケット本体の設計を中心に活動してきました。夏休み期間にロケットの講習会に参加し、資格を取得したメンバーが中心となってロケット設計の基礎を教えながら進めていきました。ロケット設計の基礎として重心と圧重心の関係が重要になってきます。この位置関係が崩れるとまったく飛ばないものになってしまいます。材料の軽量化も必要なので、ホームセンターに使えるような材料を探しに行きました。求めるような材料がなかなか見つかりませんが、メンバーで意見を出しながら代用品を見つけていきました。材料が決まっていけば調整を繰り返しながら期待の設計に取り掛かれるのですが、材料選びは機体の性能に大きくかわってくるので慎重に進めていきたいです。12月末までが大会の申込期間です。その前に機体の安全審査があるので、それまでに間に合うように活動していきます。またミニジャンボリーへの参加も考えているので自分たちのやってることを広く発信していきたいと思っています。

**これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています**



# 第19回 山口大学おもしろプロジェクト 10月



## 缶サット計画

今月は、種子島ロケットコンテストの出場に向けてペイロード(ロケットにのせて打ち上げるプロペラ機)の設計、製作を中心に活動を進めてきました。私たちが、出場を予定している競技は、ロケットにペイロードを乗せ、上空で放出してその落下時間を競うもので、いかにゆっくり落とすかが重要です。そのために実験を繰り返して制作してきました。メンバーには、自分の考えてきた設計をプレゼンテーションしてもらう機会も取りました。皆それぞれとてもいい案を出してくれたので、設計を大きく進めることができました。11月11日には、ライセンス取得者以外にも打ち上げの基礎を学んでもらうために打ち上げ講習会を開きました。今後安全に打ち上げていくためにも必要なものだったと思います。今後はロケットを製作して実際に打ち上げて動作を確認する実験を行いたいと思います。大会のエントリーとロケットやペイロードの安全審査まであまり時間がないので、急いで製作を進めていきたいと思っています。



打ち上げ講習会

## 山大グリーン・ツーリズム



さつまいも掘りの様子です。

日に日に寒さを感じるようになりました。そのような中、寒さに負けず11/12にさつまいも掘りを行いました。26人(内留学生13人)の方々が参加して下さい、いつも静かなくいしんぼう畑が、とてもにぎやかな畑になりました。まず初めに参加者の自己紹介をして、皆でさつまいも掘りを行いました。全部で51個のさつまいもを収穫することが出来ました。一人一つずつお気に入りのさつまいもを持って帰りました。翌日、参加者の方から「大学芋にしたよ!」というお言葉をかけて頂き、とてもうれしかったです。今回のさつまいも掘りをきっかけに多くの方々にくいしんぼう畑の存在を知って頂くことが出来たので、これからひとりでも多くの人のもう一つの居場所となるような畑にしていきたいです。また、施設管理の職員の方にご指導を頂き、肥料づくりの枠が完成しました。早速、今回のさつまいも掘りで出たさつまいものツルを投入し、現在、肥料づくりに挑戦しています。「大学内にあるもので、大学外にごみを出さない」という大学内で完結する栽培を目指していきたいです。

## ソーラーカープロジェクト2014

今月は地域の方と交流し、山口大学やソーラーカーの認知を広げるため、宇部祭りに出展しました。前日までに準備のためソーラーカーをわかりやすく説明したポスターを作成し、大会等の写真をまとめたスライドショーを用意しました。またソーラーカーに、子供を乗せるためパネルの一部をはずしたりブレーキを固定したりなど安全対策をしました。当日は子供からご年配の方まで幅広い年代の方に見に来ていただきました。中には興味津々でソーラーカーの仕組みを質問してくれる男の子や、部員とソーラー発電について熱く議論される方もいらっしゃいました。また、詳しい方にソーラーカー制作についてアドバイスを頂いたり大変有意義な時間を過ごすことができました。途中、天候の悪化でお客様の足が途絶えた時間もありましたが、最後まで無事に終えることができました。一年間の大きな行事はすべて終了したので、今後は車体の改良・制作について議論を重ねていきたいです。



宇部祭りの様子

## Code Orange



医学祭だよ  
全員集合!!

11月8-9日、山口大学小串キャンパスにて第70回山口大学医学祭が開催されました。Code Orangeは第6回となる『市民のための心臓蘇生講座』を開催し、来場者152人、受講者128人という結果になりました。1日目は、朝早くから多くの方に受講していただき常にブースがいっぱいである状態が続きそのため全ての方に受講していただくことが出来ず展示物の説明とポスターセッションだけの人もおり反省もありました。2日目は天候が悪かったのですが、お昼からお笑いライブもあったことで1日目に引き続いて多くの来場者がありました。また2日目には、昨年と同様にACLSのデモを行い、そちらにも約100人の方が見に来ていただくことができました。本年の医学祭においても多くの山口県の方々にBLSの大切さを広めることが出来ました。医学祭を終えてからも参加して頂いた方のアンケートをすべて見直して、次の講習会に生かすために、オレンジメンバー全員で反省会を行いました。今回の医学祭において周りの小中学校の自治会の方から来年の依頼のお話を頂けて大変良い機会にもなりました。最後に、引き続き次の講習会に向けてメンバー全員で全力で取り組んでいこうと思います。

**これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています**



# 第19回 山口大学おもしろプロジェクト 11月



## 地域に物知り博士を増やそう！in山口

11月は、週末にほとんどイベントがあり、充実した日々を過ごしています。今月は、おもしろプロジェクトの企画である「はにわ作り」を山口市の博物館で行いました。募集の段階でたくさんの方が申し込んでくれ、私たちはうれしい気持ちや、また子ども達の期待に応えられるか不安な気持ちでいっぱいになりました。「この企画を成功させたい！」と思い、当日の夜を何度も確認したり、小まめに博物館の方と連絡を取り打ち合わせを行いました。私たちは、このやり取りの中でも全体共有の大切さなど多くのことを学ぶことができました。また、今回の「はにわ作り」は、このプロジェクトの目的である「子ども達の体験を増やす活動をする・歴史や文化を子ども達に伝える」この2つを達成することができたのではないかと思います。小学校6年生以上の子は、はにわが何なのか、まったく知らないという子が多かったのですが、活動を終えた後には、はにわについて話せるようになっていました。このように子ども達が成長したのは、はにわを実際に作る体験学習を通して、子ども達が楽しみながら行えたからではないのかなと思います。私たち大学生側もはにわ作りを初めてしたのでとてもいい経験をすることができました。おもしろプロジェクトを通して、子ども達のたくさんの笑顔を見ることができたのでよかったです。今月は、とてもやりがいのある活動ばかりであったなと心から思いました。



子どもが作った  
はにわです。

## Code Orange



幹部交代式

Code Orangeのビッグイベントである医学祭を無事に終え一息つきました。Code Orangeメンバーの救命処置に対する知識の向上も兼ねて、包帯法について看護のみんなに講義してもらいました。大変わかりやすく教えてくれました。この知識は、来年2月に行われる宇部駅伝に大いに使いたいと思います。また後輩たちが全国の救急WSに参加して、その報告をしてもらいました。やはり全国には僕たちCode Orangeより積極的に心肺蘇生法の普及を行っているサークル、団体がたくさんあるということがわかりました。今後は、そのようなサークル、団体さんたちとも協力してより多くの一般市民の方々に心肺蘇生法を広げていきたいです。最後に、今月の初めに新幹部のみんなに幹部交代式というものを開いていただきました。前代表として一年を振り返ると本当に大変な一年でしたが、あいさつの時には涙がこぼれるほどの充実感に満たされていることに気づきました。来年以降は、新幹部のみんなを全力でサポートしていきたいと思っています。

## ソーラーカープロジェクト2014

今月は来年度の大会に向けての話し合いを重ねました。議論が深まるにつれて特にモーターの仕様変更が重要な要素の1つだという話になり、製造メーカーに仕様変更をお願いするか、地元の企業に依頼して仕様変更およびアップグレードを行うかという2つの意見が出ました。結局、今後の補償などを考えて製造メーカーに仕様変更を依頼することになりました。ただいま、見積もり依頼中で来月には、モーターを取り外し、オーバーホールおよび仕様変更を行ない、そのあとに試走を行って大会後に出た改良点や改善点についての確認を行ない、どれが効果的かなど試行錯誤を重ねていければと思います。常盤キャンパスの講義棟に展示していたソーラーカーを年明けのセンター試験のためガレージと体育館倉庫に移動させました。今年も、終わりに近づき、これから年度末にかけて、テストや論文発表などメンバーのそれぞれが忙しくなりますが、忙しいながらもそれぞれ時間を見つけて、来年の大会に向けて頑張っていければと思います。



移動後の車体と  
防水対策

## 月1!!Global☆



赤組VS白組  
紅白戦

今月期は日程の都合上、2回のイベントを行いました。まず一つ目が11月29日に行われた津和野ドライブです。この日は日本人20名、留学生17名が集まりました。津和野では、ROLE PLAYING TSUWANO という観光型エンターテインメントのプログラムにみんなが参加しました。私たちが探偵となりさまざまなミッションを解いていながら、津和野の観光をするというプログラムで、とても有意義な時間を過ごすことができました。主催者のかたと深いつながりもでき、参加した留学生からのとても楽しかったという声が多くすばらしいイベントになりました。まだまだ小さい組織ではありますが、これからもこのように地域とが連携していけたらいいなと思います。そして二つ目は12月20日に行われた紅白ミニゲーム合戦です。この日は留学生8人、日本人24人の参加でした。企画組の連絡が思うようにいってなく前日までばたばたしましたが、当日はみんな楽しく笑顔あふれるイベントになり、とても楽しかったです。

**これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています**



# 第19回 山口大学おもしろプロジェクト 12月



## 山大グリーン・ツーリズム

新年になり、山大グリーン・ツーリズムの活動も始動しました。1月14日に今年初めてのミーティングを行い、今年の活動について話し合いました。今年初の活動として、くいしんぼう畑の白菜を使って、白菜パーティをしようという話になり、現在計画を進めています。昨年の反省点として収穫物をみんなで食べて、交流を深めるということが出来なかったということがあったので、今年はその反省を生かしていきたいと思っています。畑では現在、大根、白菜、カブ、ニンジンそしてイチゴの苗が寒さに負けず成長しています。イチゴの苗は昨年の12月に植えたのですが、その時は緑色だった葉っぱが、今は赤く紅葉しています。また苗の根元から新しい葉っぱが出てきていて、植物の強さを感じる今日この頃です。いちご狩りができる春がくるのがとても待ち遠しいです。そんな植物たちに負けないように、今年も畑でつながった人と人のつながりを大切にしながら、頑張りたいです。



生命力いっぱいのイチゴの苗  
(1/7撮影)

## MOTTAINAI☆PROJECT

今月は4月に渡日してくる留学生さんへの生活用品配布会に向けてのミーティングを行ったり、Facebookを用いて、生活用品の募集を告知したりしました！  
前回の反省を踏まえながら、今回も留学生さんのお役に立てると嬉しいなあ～と思っています。更に来月は山口県エコキャンパス取組促進協議会のエコバスツアーにも参加することになりました。モノの流れを学ぶ良い機会になります。又、学内の環境保全係の方から連絡があり、私たちの活動が来年度の報告書に掲載されることになりました！こちらも是非ご覧くださいませ！ たくさんの方々のご理解とご協力があるからこそ、成り立っている企画であると思います。知名度も徐々に上がり、声をかけてくださる方も増え、本当に感謝しています！ 4月の配布会が活動の節目であり集大成であるので、メンバー全員で頑張りたいと思います！

## 山口大学フォーミュラレーシングチーム

今月期は私を含めたメンバー全員の教育が主となる活動が多くありました。まず私たちの車両設計に用いている3DCADソフトウェアの講習会に、フレーム設計・製作が主な担当であるボディワーク班より2名派遣し実務的なソフトウェア使用法について学ぶことができました。また、岡山大学にて開催の現在は企業にて活躍されている学生フォーミュラOBの方によるチームスキル向上活動ミーティングに参加しました。このミーティングでは関西圏にある大学の学生フォーミュラプロジェクトが集合し、各プロジェクトの問題点等を各々がプレゼンテーションした後、OBの方よりご指導を頂くという形式でした。本プロジェクトも非常に多くのアドバイスを頂きました。一月に入った全体ミーティングにて、このミーティングで得た知識をプロジェクト全体に浸透させました。いよいよ来月期より車両のフレーム製作に入る予定です。

## アジアカレッジ



アジアカレッジ  
参加者達

今月5人のアジアカレッジ参加者が7日間日本にきてくれました。私たち日本人側も下関港に行き、夏から約3ヶ月ぶりの再会となりました。下関周辺を韓国参加者と観光、食事をしました。  
そのあと日本人企画者側と懇親会をしました。久しぶりの再会でどんなことが今までにあったのかなどを話しながら交流しました。  
年末年始は山口ですごしました。日本の正月を体験してもらったかったので韓国参加者の希望により大晦日はNHKの紅白歌合戦を見たり、年越しそばをたべました。お正月はお雑煮をたべたり、ちょっとしたおせち料理を食べた後、防府天満宮に行き初詣も体験しました。韓国人の参加者は、いままで知ってはいなかったけどなかなか体験できないことだったので体験できてよかったと言っていました。  
そのほかにも、日本の歌を歌いたいと韓国人が希望したのでカラオケに行きました。韓国のカラオケにな、韓国の歌などもあったりして韓国人達はとても嬉しそうでした。

**これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています**



# 第19回 山口大学おもしろプロジェクト 1月



## アジアカレッジ

冬(2015年2月末まで)に行われるアジアカレッジの打ち合わせをしました。冬は韓国で開催されるので企画・運営は韓国側がメインで行います。日本側としてもこちらの希望を伝えることもあります。今回はその打ち合わせとして韓国側の部長とスカイプで打ち合わせをしました。去年は韓国の民族衣装を着てみんなで記念撮影をしたり、韓紙をつかって置物をつくったりしました。また世界遺産を訪れて写真撮影を行ったりミッションを行ったりしました。また韓国側の参加者の家でホームステイをしたりしました。例年はそのような内容を行う日程となっていますが、今年はできるだけ日本側の要望を伝えて、それを反映させるように努めました。去年各グループに分かれて自由行動の時にいった「テムテルバン(日本で言うサウナ)」がとても好評だったのでそれをアジアカレッジ全体の日程に加えるように頼みました。できるだけ私たち日本側の意見が通るように計らってくれるとのことでした。

あと冬のアジアカレッジまで1か月を切りましたがとても楽しみです。

## Code Orange



FMきららカップ  
第32回宇部駅伝  
大会

今月のCode Orangeの報告は、やっぱりFMMきららカップ第32回宇部駅伝大会の自転車救急隊と山口大学附属病院内科メディカル対象BLS講習会講師です。まず、宇部駅伝では、1月からの色んな状況を想定した練習会のおかげで大きなけがなどもなく無事に終わることが出来ました。また同時に会場で行った一般市民対象の心肺蘇生法講座においても中高生も多く参加してくれたので普及もうまくできたと感じました。院内メディカル対象BLS講習会では、去年に引き続き講師をお願いされ医療従事者が相手という説明に難しい場で、Code Orangeのメンバーのスキルアップができ大変いい機会となりました。ここでは、多くの2年生、3年生が参加してくれていますので前代表としてうれしく思いました。2月、3月は医学科生の多くがまだ授業とテストがあり、また多くのレポートなど忙しいのであまりイベント事が出来ないのが残念ですが、定例会などを介して知識的向上を目指していきたいと思っています。

## 山大グリーン・ツーリズム

2月12日に畑の白菜を使って「白菜パーティー」を行いました。14名(内留学生1人・地域の方2人)の方々が参加して下さいました。初めに自己紹介をして畑で白菜や大根、カブの収穫を行いました。抜いてみると不思議な形の白菜や、ピンポン玉のようなカブが出てきてとても楽しい収穫になりました。スーパーの袋3袋分の収穫ができました。計画では白菜でミルフィーユ鍋と大根葉で菜飯を作る予定でしたが、参加者の方が急きょ大根で煮ものを、カブでなますを作ってくれ、さらに豪華なパーティーになりました。いつも畑で活動していると声をかけて下さる地域の方も含流し、みんなで楽しく食事をすることが出来ました。参加者の方が「野菜の収穫は、幼稚園のとき以来でずっと貴重な経験ができた。初めて会う人がたくさんで、みんないい人たちでうれしかった」(教育2年)という感想を下さり、自分たちで作り、収穫した野菜をみんなで食べることの幸せを強く実感しました。これからもこの幸せをみんなで共有していきたいです。



白菜パーティー  
の様子

## ソーラーカープロジェクト2014



ガレージの様子

今月は残りの予算を確認し、購入する材料に関して話し合いました。今後の活動では新しいバッテリーと試走に向けた計測機器が必要となります。そこで、電気機器を中心とした購入計画を立てました。電気関係を充実させることで、車体の能力の向上と正確なデータの測定が期待できます。2月12日には、「自主活動交流会」におもしろプロジェクト採択団体として参加しました。この交流会を通じて、様々な活動団体と触れ合うことができ、多くの収穫を得ました。問題の解決の方法等も話し合えて、大変勉強になりました。活動をより良くするためにも、多くの団体と交流を持ち、協力し合う関係になればと思います。今月は部員が卒業論文や期末テストの準備のため、十分な活動時間を持てませんでした。部員の予定をしっかりと把握し、活動をこまめに行うよう努力するべきでした。春休みは活動頻度を増やし、今月できなかったモーターの取り付けと新しいホイールのハブの設計、試走の計画、ボディの修繕に取り組みます。

**これらのプロジェクトに関するお問い合わせは  
自主活動ルームにて受け付けています**